

I. 広東省

1 広東省代表団が全人代常務委員会活動報告を審議

●12日、広東省代表団が全体会議とグループ毎の会議を開催し、標記活動報告を審議した。李希書記は全人代活動報告に完全に賛同すると述べた(3月13日付『南方日報1面』)。

2 東莞市は広東・香港・マカオビッグベイエリアで先進的な製造拠点となる考え

●東莞市は単なる通り道とみられていたが、開放経済の下、世界の資源を集め、「世界の工場」となった。今後重点企業の規模と効率・利益の「倍增計画」を突っ込んで実施し、スマート製造の全て揃ったエコチェーンを積極的に作っていく(3月13日付『南方日報8面』)。

3 広東省代表団が全体会議を開催し、監察法案を審議

●13日午後、広東省代表団が全体会議を開き、監察法案を審議し、李希書記は監察法案に全く賛成であると発言した。監察法案は党の主張と人民の意思が十分に反映されているとした(3月14日付『南方日報1面』)。

4 広東省の1～2月の対外貿易が1兆元を突破

●今年1月～2月の対外貿易が1兆300億元となり、前年同期比で17.4%の増加となった。これは中国全体の貿易総額の22.8%を占めている。内訳は、輸出が6,184億元(同14.5%増)、輸入が4,091.1億元(同21.9%増)であった(3月14日付『南方日報11面』)。

5 広東省代表団が国務院機構改革案を審議

●14日午後、広東省代表団が全体会議を開き、国務院の機構改革案を審議した。李希書記は完全に賛成していると発言した(3月15日付『南方日報1面』)。

II. 広州市

1 広汽トヨタ、高品質路線により1～2月の新車販売台数が大幅に増加

●広汽トヨタの発表によれば、2月の販売台数は26,575台となり前年同期比8.7%増となった。1～2月の累計販売台数は75,363台で、前年同期比16.7%増となった(3月15日付『南方日報6面』)。

Ⅲ. 深圳

1 三省八市の全人代代表が深圳—杭州間高速鉄道近海内陸線を提案

● 12日、三省八市の全人代代表が深圳—杭州間の沿海線が既に出来上がっている中、更に内陸となる新たな路線を建設することを提案した。杭深高速鉄道近海内陸線は杭州西—衢州西—江山—武夷山（福建省）—南平—三明—龍岩—梅州（広東省）—龍川—深圳を通り、総延長約1,200kmとなる（3月13日付『深セン特区報6面』）。

2 深圳から珠江デルタ各都市まで一時間前後で到着が可能へ

● 中国鉄道広州局グループ傘下の広州鉄道科技發展有限公司の錢春陽・チーフエンジニアは、広東省代表団の全体会議で2020年までに広東省内の高速鉄道総延長距離は2,319kmに達し、現在よりも50%増加すると述べた（3月15日付『深セン特区報7面』）。

3 深圳市を国際イノベーション・デザイン都市として建設することを加速

● 15日午後、王偉中・市党書記が、深圳市のファッション・アイデア産業について調査・研究を行った。王偉中・市党書記一行が福田区の田面設計之都と福田保稅区にある中芬デザインパークを訪れ、産業パークやデザイン企業の責任者、デザイナーと深く交流し、ファッション・アイデア産業の發展状況について詳しく理解した（3月16日付『深セン特区報1面』）。